

## 一行目にまつわる本

910.26 卍 小説のはじめ 書き出しに学ぶ文章テクニック 佐藤 健児／著  
江國香織、石田衣良など現在活躍中の作家の小説から、芥川龍之介、夏目漱石、江戸川乱歩など、小説の書き出しに秘められたテクニックを読み解く。

917 卍 書き出し美術館 小説の書き出し四八九編 教育社編集部／編  
多くの作家たちのひときわ大きなエネルギーが費やされた書き出しだけを、一冊にまとめた。それぞれの一文は、一枚の名画のように限り無く豊かなイメージを楽しませてくれるだろう。

7 卍 J902 卍 書き出しは誘惑する 小説の楽しみ 中村 邦生／著  
名作、問題作、異色作、あらゆるジャンルの小説を洋の東西、長短編にかかわらず取り上げ、書き出しを導きの糸として、小説の魅力や読む楽しさを解説する。

まだまだこんな本もあります

908.8 卍 書き出し「世界文学全集」 柴田 元幸／編・訳

901.3 卍 ライトノベル作家のつくりかた 浅尾典彦&ライトノベル研究会／著

901.3 卍 ミステリー小説を書くコツと裏ワザ 若桜木 虔／著



愛知県図書館

名古屋市中区三の丸 1-9-3 TEL : 052-212-2323

地下鉄丸の内駅⑧番出口から北へ徒歩 5 分

市バス「愛知県図書館」下車徒歩 3 分

2016.07 一行目を楽しむ!

## 一行目を楽しむ!



3階ティーンズコーナー ミニ展示

2016年7月15日～11月9日

本の一行目とは、その本を読ませる力を持っているとされています。

何気なくとった本の一行目を読んで、続きが読みたくなる…という経験ありませんか?

新しい本との出会いのきっかけに、ユニークな一行目を集めてみました。

今号では、その中からいくつかを紹介します。

## 一行目の謎

夏休みの第一日目、  
私はユウカイされた。

J913 カク キッドナップ・ツアー 角田 光代／作

生き霊に取りつかれた。

テコ 913.6 フシ 少女怪談 藤野 千夜  
／著 より、「青いスクーター」

殺人事件は終わった。

テコ 913.6 カン 枯れゆく孤島の殺意  
神郷 智也／著

すべての始まりはキャベツだ。

テコ 913.6 イシ キャベツ 石井 睦美  
／著

※請求記号、タイトル、著者の順に並んでいます。

## 一行目のセリフ

「父さんは父さんを  
今日で辞めようと思う。」

📖 913.6 材 幸福な食卓  
瀬尾 まいこ／著

「先生、仲葦さんが昨日の  
日曜日、名駅の地下をまる  
でトイザラスな格好して、  
歩いていました」

📖 913.6 処 十四歳の遠距離恋愛  
嶽本 野ばら／著

## 「問題」

「ねえ、誰にも言わな  
いでね、誰にも言わな  
いでね」

📖 913.6 7 双月高校、クイズ日和  
青柳 碧人／著

📖 913.6 ト リテイク・シックステイ  
ーン 豊島 ミホ／著

主人公はあたしじゃない。

📖 913.6 3 戦場のガールズライフ  
吉川トリコ／著

この際、はっきり言って  
おくけど吹部は体育会だ。

📖 913.6 7 吹部！  
赤澤 竜也／著

ハッピーエンドから、  
はじめよう。

📖 J933 ウィ ダストビン・ベイビー  
ジャクリーン・ウィルソン／著

海にいて、途中で何に出会って  
もおかしくないと知りながら  
天と地のあいだを進んでいく  
のは、どこか恐ろしく、それで  
いて魅惑的なものだ。

📖 936 コツ 赤ちゃんクジラと泳  
いだ海 リン・コックス／著

## 一行目の主張

## 一行目の日常

一般人の星間飛行が  
可能になってから、百  
年余り経つ。

📖 J913 九 歌う樹の星  
風野 潮／著

半年前から、玄関で寝ている。

📖 913.6 ハ 流れ星が消えないうちに  
橋本 紡／著

ゴールデンウィークがあ  
けた朝は、ミルクの底み  
たいな曇天だった。

📖 913.6 イ 学園のパーシモン  
井上 荒野／著

橙色に染まる西空を茜雲がいろ  
どり、小さなビルやマンションに  
も金色の陽射しがふりそそぐ、秋  
の黄昏どき。

📖 913.6 7 陰陽屋へようこそ  
天野頌子／著

ある朝、グレゴール・ザムザが気  
がかりな夢から目ざめたとき、自  
分ベッドの上で一匹の巨大な毒  
虫に変わってしまっているのに気  
づいた。

📖 943.7 カ 変身/掟の前で カ  
フカ／著、丘沢 静也／訳

本曾路はすべて  
山の中である。

913.6 シ 夜明け前 第1部上  
島崎 藤村／著(全4巻)

桜の樹の下には屍体が  
埋まっている！

913.68 カ 梶井基次郎小説全集  
梶井 基次郎／著  
より、「桜の樹の下には」

親譲りの無鉄砲で子ども  
の時から損ばかりしてい  
る。

📖 J913 ナ 坊っちゃん  
夏目 漱石／著

## 名作の一行目